

## JICA 海外協力隊 派遣開始から 60 年

「JICA 海外協力隊 60 周年記念写真展 世界を変えるために」を開催



【写真：1982年にガーナに派遣された JICA 海外協力隊員】

JICA 中部が運営する「なごや地球ひろば」では、「JICA 海外協力隊 60 周年記念写真展 世界を変えるために」を開催いたします。是非ご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。

【取材可能期間：開催期間中（2024/12/26～2025/5/18）】

### 1965年 JICA 海外協力隊の初代隊員 5名がラオスに派遣

JICA が実施するボランティア事業「JICA 海外協力隊」は、1965年に発足し、初代隊員がアジアに位置するラオスに派遣されてから、2025年で60年を迎えます。これまで、累計99か国で約57,000人の協力隊員が活動してきました。

「JICA 海外協力隊」は、開発途上国からの要請に基づき、現地の課題に対応できる技術・知識・経験を持つ人を募集し、選考、訓練を経て派遣します。派遣された協力隊員は、現地の人々とともに生活し、働き、現地の人々と同じ言葉で話し、相互理解を図りながら、開発途上国の抱える課題解決のために活動します。

しかし、活動を終えたとき協力隊員たちは、「これができなかった」「もっとこうしたら良かった」「もっとこの国と関わりたい」「できることはきっとまだある」など、様々な思いを持ち帰ります。そして、当時できなかったことを思い返しながら、協力隊経験を活かし、今も奮闘しています。

**世界と日本を変える力。協力隊活動のその後は？**

本写真展では、現地での活動中の様子はもちろん、隊員たちの「その後」も一部ご紹介しています。世界を少しでも変えようとしている隊員や、いつか大きく変えようとする隊員の様子を、写真を通じて感じていただければ幸いです。



【写真 左】ブラジルで活動。帰国後は、外国につながる子どもたちのための早期適応教室指導員として活動しながら、学習支援教室や子育てサロンを運営する。 【写真 中央】ニカラグアで活動。帰国後は、高等学校教諭として海外と日本の高校生に国際理解の場を提供している。 【写真 右】ボリビアで活動。協力隊活動終了後、すぐにボリビアへ戻り NPO を設立。現地の人と共に環境問題などの解決に取り組む。

**企画展「PEACE－安心な毎日を－」同時開催****すべての人の尊厳や権利が守られ、安心して暮らせる世界を実現するために**

施設内で同時開催する企画展では、難民キャンプの生活環境改善や、地域の治安向上に関する取り組み、法制度整備、選挙管理支援など、JICAが世界各国で実施する協力を紹介します。世界で起きていることを知り、自分事として捉え、すべての人が安心して暮らせる世界を実現するために必要なこと、自分にできることを考える機会にさせていただく展示です。

**【展示概要】**

展示期間：2024年12月26日（木）～2025年5月18日（日） 入場無料 開館時間：10:00～18:00  
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館）、年末年始（12/29-1/3）、施設点検（3/1-2）  
最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

施設ウェブサイト：<https://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/index.html>

※展示期間中に連動イベントも行います。連動イベントや、学校等による展示見学と合わせた取材のご希望があればお知らせください。講師・学校等と調整を試みます。

**【本件に関する問い合わせ先】**

JICA 中部 市民参加協力課 石沢・後藤

TEL：052-533-0220（対応可能な時間：月～金 9時30分～17時30分）

e-mail：[cbictpp@jica.go.jp](mailto:cbictpp@jica.go.jp)